

組合ニュース

発行：2015年2月5日

大分大学教職員組合

TEL・FAX：097-554-7998

E-Mail: oitauu@fat.coara.or.jp

賃上げ要求書を提出

非常勤職員の早急な待遇改善を！！

■ 2015年度からの賃上げに関する要求書を提出

人事院勧告に依拠した来年度からの大幅な給与カットが法人より提案されています。しかし、ラスパイレ指数でみると、大分大学の教職員の賃金は全国的にも非常に低く、これ以上引き下げられるとその差がさらに広がることになります。また、非常勤職員の待遇についても、6年から5年への雇用期間の短縮等の不利益変更がなされたままになっています。そこで、組合では来年度4月からの賃上げおよび、非常勤職員の待遇改善に関する要求書を1月6日に法人に提出しました。（裏面掲載）

■ ラスパイレ指数に関する学習会を開催

国家公務員の俸給月額を基準としたラスパイレ指数でみると、大分大学の教職員は、事務・技術系職員は国立大学法人の中で下位5番目（単科大学等は除く）、教員については最下位（同じく単科大学等は除く）という状況です（国立大学法人等の役職員の給与水準（平成25年度）：文部科学省報道発表資料より）。しかし、この値は地域手当やそれぞれの大学に働く教職員の学歴等が補正されていない値で、一概に比較することが出来ない場合があります。そこで、1月20日に全大教の長山書記長を講師としてラスパイレ指数に関する学習会を開催しました。組合執行部を中心にラスパイレ指数の見方や、ラスパイレ指数から分かる大分大学の給与の現状等について理解を深めることができました。この結果、地域・学歴を勘案した場合でも、大分大学教職員のラスパイレ指数は、全国の大学のなかでも下位にあることが分かりました。今後、今回の学習会の内

容を組合員の皆様にもパンフレット等で共有していきたいと思っています。

■ 第5回団体交渉報告

石川理事:十分に時間をかけて協議し双方の合意点を見つけていきたい

1月30日に第5回団体交渉を実施しました。今回の団体交渉から、法人側の担当者が西山理事から石川理事へと変更になりました。交渉に先立ち石川理事より、「同じ大分大学に働く者として、大分大学をよりよい大学にしたいという思いは同じなので、十分に時間をかけて話し合いをし、双方の合意点を見つけていきたい。」と挨拶がありました。

交渉では、はじめに組合から法人に提出した要求書に対する回答を求めました。その中で、組合としてこのような要求をしている理由について、ラスパイレ指数で示される給与較差や、非常勤職員の待遇改善の必要性等について説明しました。また、仮に4月から人事院勧告に依拠した形で平均2%の給与カットが実施された場合の影響額についての算定も求めました。これに対し、理事からはラスパイレ指数の見方も含めて、このような状況を踏まえて再度検討し、4月からの給与制度の総合的見直しについては、次回の団体交渉において再提案するとの発言がありました。

4月からの給与制度の総合的見直しは、1月から実施された1号級抑制よりもさらに大きな不利益変更となります。冒頭の理事からの挨拶にもあったように、十分な時間をかけ交渉を継続していきたいと思っています。

2015年度からの 賃上げ等に関する要求書提出

2015年1月6日

大分大学長

北野 正剛 殿

大分大学教職員組合

委員長 岡田 正彦



2015年度からの賃上げ等に関する要求書

大分大学の教職員の給与水準は、賃金のラスパイレス指数では、国家公務員に比べると非常に低く、さらに平成25年度の文部科学省が発表した国立大学法人等の役職員の給与水準によれば、ラスパイレス指数が非常に低く、総合大学の中では事務・技術職員は全国下位4番目、教員においては最下位の状況にあります。このような格差は、地域手当による影響だけでは説明することはできず、優れた人材を確保する為にも、早急に是正することは必要であると考えます。また、この間非常勤職員の待遇改善については進んでおらず、この点についても早急な改善を求めたいと思います。

以上より、以下の2点について要求します。

1. ラスパイレス指数を高めるために、2015年度からの賃上げを行うこと。
2. 非常勤職員の待遇改善を早急に進めること。

以上